

# 新潟県森林組合 連合会



新潟市



野積の海がすぐ目の前に。冬の厳しい季節風による飛砂を防ぐ、「防風工」「防風垣」を作る。杭を打っている「防風垣」は高さ1.5メートル



1



2



3

① 海岸に連なる森林には飛砂防備などの機能を有する保安林が必要だ。この現場は2.69ヘクタール。まずは砂丘を重機を用いて整地を行う地拵え作業から始める ② 「防風垣」の杭を打つ、樋浦潤平さん ③ 樋浦さんが作業する奥に見えているのは、昭和60年に植林されたクロマツと「防風工」 ④ 海側から「防風工」を見たところ。新潟県産スギ間伐材を利用した「防風工」



4

⑤ クロマツの生育状態をチェックする石黒悠起さん(左)と石黒さんを指導する本田信志さん。石黒さんは入社1年目。現場監督として現場の人たちが作業しやすいための準備から測量・調査などを担当 ⑥ 去年植え付けしたクロマツ。飛砂を防ぐための「静砂垣」の高さは60センチと低め ⑦ 杭や葦(よし)などの材料。杭は県産のスギの間伐材を利用している



7



8



9

## 森林組合を統括し、新潟の林業を活性化

新潟県森林組合連合会は県内にある22の森林組合を会員とする上部機関として昭和16年に設立した。業務は「指導管理部」と「系統事業部」で構成され、指導管理部は「森林所有者の経済的・社会的地位の向上と森林の保続培養及び森林生産力の増進」という森林組合の目的の達成に向けて、会員組合に対して民有林経営指導を行っている。系統事業部では木材共販市場の運営・林業資機材の販売・新潟県産材の普及PR活動・海岸防災林の森林整備を行う。今回の取材では系統事業部の海岸防災林の作業現場を訪れた。

また、連合会が主催する木材市場は県内最大の規模を誇り、県内外の森林組合や林業事業体が生産した針葉樹・広葉樹素材を口競争にて製材所や大工・工務店に販売し、県産材の普及に取り組む。代表理事専務の小田稔さんは「森林組合が生産した材を流通にのせて新潟県の林業を活性化していきたい。そのためには森林組合同士の間での知識や情報の連携も必要です」と話した。

# 緑の担い手

～大自然の中で、  
プロ意識を持って働く人たち～

林業は必ず誰かが  
やらなければならぬ



**植浦潤平**さん 年齢: 41歳  
林業経験: 20年



父が林業を営んでいたのだから幼いころから作業を見ていました。外での仕事は開放感がありますが真夏や真冬の作業は大変なため、体調管理とケガに気を付けています。私が林業を始めて最初の年に植えた木が大きく育っているのを見ると良い仕事だと実感し、達成感を感じます。山を放置したままだと荒れてしまうため、林業は誰かがやらなければならない仕事であり、責任感をもって仕事に従事しています。

父が林業を営んでいたのだから幼いころから作業を見ていました。外での仕事は開放感がありますが真夏や真冬の作業は大変なため、体調管理とケガに気を付けています。

中学3年生のときに八海山の登山ツアーに参加したことをきっかけに自然の美しさと厳しさに魅了されて将来、自然の中で働く仕事がしたいと思いました。林業の仕事に就けてうれしいです。まだまだ失敗もたくさんありますが、与えられた仕事を責任持ってやりたいと思っています。良い先輩に恵まれているので期待に応えられるようがんばりたいです。



**石黒悠起**さん 年齢: 21歳  
林業経験: 9ヵ月

登山で山に魅了されて  
林業の仕事を見つけた

## 事業体 Data

新潟県  
森林組合  
連合会



住所/新潟市西区曾和521-3 電話/025-261-7111  
設立/昭和16年 資本金/147,270千円  
従業員数/27人(内技術職員8人)  
勤務時間/8:30~17:00 主な勤務地/新潟県下全域  
(主に胎内市、新発田市、聖籠町、新潟市、長岡市)  
主な従事業務内容/指導管理部[管理課・指導課]、系統事業部  
[業務1課(販売)、業務2課(購買)、業務3課(森林整備)]

## 事業主 コメント

新潟県森林組合連合会  
代表理事専務

### 小田稔さん

新潟県の県土の68%、約86万ヘクタールが森林で、そのうち約30万ヘクタールの森林を森林組合が管理しています。もっと県産材の素晴らしさを知ってもらいたいと県産材の消費拡大を目指して平成13年に「越後にいきる家をつくる会」を発足。会が手掛けた「越後森林館」(右頁①)は、見学だけでも気軽にできます。木造りの素晴らしさを体感してください。



①連合会事務局は「越後杉流通活性化センター(愛称:越後森林館)」内にある。センターのホール棟は樹齢100年を超える6本の根曲がりのスギを柱に使った六角形のデザインが圧巻。釘や金物を一切使用しない、伝統的な木組み工法ほか、職人の技と技術が最大限に活かされている ②根曲がりの木の産地は村上市(旧山北町)、阿賀町(旧上川村)、長岡市(旧栃尾市)。柱はマサカリやちょうなを使い、美しく加工されている ③廊下の上部も見事な小屋組 ④敷地内で毎月、木材市を開催 ⑤建物で使用した県内産の材を一覧できるコーナー